

平成23年度  
支笏洞爺ニセコルート活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月:2012/3/31
------------------	-----------------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	花と緑の植栽	1	共和町神仙沼周辺 パノラマラインの清掃活動	共和町商工会青年部	平成23年6月30日	10名(主催者側 10名)		景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて景観づくりに関する検討を継続している。各地域で子ども達と一緒に活動が目立っている。
		2	綺羅街道沿道植栽	NPO法人ニセコマちづく リフォーラムほか	平成23年5月29日	120名(主催者 側40名、一般参 加80名)		
		3	フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	平成23年5月31日	100名(主催者 側20名、一般参 加80名)		
		4	花いっぱい運動	留寿都村観光協会、る すつWAO、留寿都高校 他	平成23年5月31日	100名(主催者 側20名、一般参 加80名)		
四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去	5	羊蹄山麓広域景観づくりと 協働で検討	エリア全体	継続検討中	—		
果樹園などの田園景観を整える	花による沿道の演出	6	沿道美化活動	そうべつくだもの村、 NPO法人そうべつ観光 協会	平成23年度	主催者側30名		洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
花とみどりによる四季の感じられる景観形成	ウエルカムゲートの整備促進	7	恵庭岳公園線植えるカム 花ロード	えにわ シーニックプロジェクト	平成23年6月4日	約120名(主催 側15名、一般参 加105名)		おもてなしの心を持って、沿道を彩る花植え活動や清掃活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけでなく、観光の一助ともなる「元気な北海道の発信」と「被災地へのメッセージ」募集などの活動も展開した。今後も引き続き、現在の活動を継続しつつ、エリアの特徴を活かした景観の向上を目指していく。
		8	ここからはじまる北海道 千歳ウエルカム花ロード ver.9	千歳ウエルカム花ロード 実行委員会(社団法人 千歳青年会議所)	平成23年 5月31日	約480名(主催 側55名、一般参 加425名)	S W 1	
尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川周辺の清掃や管理	9	尻別川周辺清掃(草刈等)	京極町景観を考える会	平成23年6月8日、27 日、7月28日、8月2日、 12日、20日、30日	延べ50名(主催 者側50名)		景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて景観づくりに関する検討を継続している。また、京極町においては、今年度から地域協働の取組として官民連携によるビューポイントパーキング周辺草刈りが試験的に行われた。
	河川景観の保全と河畔林の創出	10	尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリバー ネット、蘭越町	平成23年6月18日	300名(主催者 側50名、一般参 加250名)		
	散策路・フットパスの整備	11	『秋のフットパス・ウォーकि ン蘭越』	NPO法人しりべつリバー ネット	平成23年5月7日	50名(主催者側 10名、一般参加 40名)		
エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		12	羊蹄山麓広域景観づくり にて検討	羊蹄山麓広域景観づく り推進協議会	継続検討中	—		「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」にて4つの検討部会を中心にそれぞれの情報共有・情報交換等が行われている。
洞爺湖に彩を添える	洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	13	MOVE洞爺湖2011	洞爺湖温泉観光協会、 洞爺湖町ほか	平成23年4月29日	330名(主催側 30名、一般参加 300名)		洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
	花と緑の植栽	14	2011「サミット記念の森」 植樹のつどい	北海道、洞爺湖町	平成23年5月15日	160名(主催側 20名、一般参加 140名)		
温泉街らしさを演出する	湯煙のあるまちづくりの推進	15	SPAポイントキャンペー ン	洞爺湖温泉観光協会	平成23年11月18日～平 成24年4月27日	—		洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
		16	洞爺湖温泉夏祭り	洞爺湖温泉観光協会	平成23年7月24日～8月 20日	—		
		17	洞爺湖温泉業師の日「湯 かたまつり」	洞爺湖温泉観光協会、 洞爺にぎわいネットワ ークほか	平成23年8月8日	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月:2012/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
			18	洞爺湖温泉冬まつり	洞爺湖温泉観光協会	平成24年2月6日～12日	—			
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	河川や湖面、沿道の清掃 (*清掃活動の推進)	19	453(ヨコサン)530(ヨミセロ)キャンペーンin支笏湖	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成23年5月30日 平成23年9月30日	約70名(主催側5名 一般参加者65名)		おもてなしの心を持って、沿道を彩る花植え活動や清掃活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけではなく、観光の一助ともなる「元気な北海道の発信」と「被災地へのメッセージ」募集などの活動も展開した。今後も引き続き、現在の活動を継続しつつ、エリアの特徴を活かした景観の向上を目指していく。	
		音楽コンサートの開催	20	くっちゃん雪トピアフェスティバル2012	くっちゃん雪トピアフェスティバル2012実行委員会 他	平成24年2月18日～19日	550名(主催者側50名、一般参加500名)			
		地域資源の発掘・活用	21	教育環境プログラム「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、倶知安町立東小学校3年生 他	平成24年2月	40名(主催者側5名、生徒参加35名)			
地域	エリアの資源の発掘と保全活用	地域資源マップの作成	22	ヒヤクノメグミプロジェクト(継続検討中)	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成23年度	—		地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。今年度は「タカラモノプロジェクトモニターツアー」として試行実施。	
			23	「ぐるっと洞爺湖MAP(マップ)」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成22年度(継続配布中)	—		「世界ジオパーク」認定にあわせ「洞爺湖・有珠山」を楽しむイベントやパンフレット等様々な取組が行われている。	
	地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進	24	各自自治体での清掃活動	ニセコ羊蹄エリア全域	平成23年度	延べ500名程度(各50～70名)		環境教育プロジェクトとして、小学生が参加した廃油を活用したキャンドル作りなど、新しい取り組みも展開している。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。	
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討	25	「恵み野花マップ」の制作による地域ブランドのPR	社団法人恵庭観光協会発行(えにわシーニックプロジェクト企画)	平成23年度(春季)	—		地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。	
			26	恵庭の秋めぐり紅葉バスツアー	えにわシーニックプロジェクト	平成23年度 道路陥没により一端休止	—			
	地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	27	まちの賑わいを創るためのセミナー	NPO法人しりべつリバーネット	平成24年2月7日	150名(主催者側20名、一般参加130名)		江差町歴まち商店街協同組合理事長である室谷元男氏をお招きして、ニセコ羊蹄エリア及び真狩村の賑わいを考えるセミナーを開催した。	
			28	「えにわ市民プラザ・アイル」における情報発信	えにわシーニックプロジェクト	平成23年4月1日～3月31日	—		恵庭の市民が集まるコミュニティの場、バイウェイの配布など、シーニックの魅力や寄り道情報について発信。今後も様々な機会を通じて、シーニックのPRを図っていく。	
	エリアの人材育成	子供を対象とした講座・ツアーの開催	29	第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会開催記念ジオツアー「ジオパーク勉強会」	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会外	平成23年6月19日・7月30日	各45名(主催側5名、一般参加40名)		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。	
			30	洞爺湖有珠山マイスター養成講座	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会外	平成23年6月3日・4日	68名(主催側8名、一般参加60名)			
			31	第2回日本ジオパーク全国大会プレイベント講演会「変動する大地、火山と共生する地域づくり」	そうべつエコミュージアム友の会外	平成23年9月3日	—			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清						報告年月:2012/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
交流と連携による地域づくりの推進	自然環境学習・教育プログラム	32	ここからはじまる北海道千歳ウェルカム花ロード ver.9	社団法人千歳青年会議所	平成23年5月31日	約480名(主催側55名、一般参加425名)		おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る花植え活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業を通じた震災後の復興を考える応援メッセージの取組も実施できた。活動を継続し、エリアの特徴や地域連携を活かし地域の将来を担う子どもたちの育成など景観の向上とともに取り組みたい。	
		エリア産業の活性化	地産地消の推進	33	[胆振の国(いぶりのくに)]食ブランド化プロジェクト	ゆったリズム体験倶楽部、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖温泉観光協会	継続中	-	第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。
				34	洞爺湖有珠山ジオパーク「フードパス」	NPO法人そうべつ観光協会	継続中	-	
				35	そうべつりんごまつり	そうべつくだもの村外	平成23年10月9日	-	
36	ワンストップサポート事業の推進	NPO法人洞爺にぎわいネットワーク	継続中	-					
農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食(農産物)の活用と売り込み	37	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の開設	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、倶知安町 他	(通年営業)	-	倶知安町にアンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」が開設し、地域住民と来訪者の交流の場、地場産品の販売の場としての展開が期待される。今後は適切なニーズの把握やそれに応じた販売経路の確保等についての検討が必要である。		
		38	「いなかのおもいやり(缶詰)」の販売	NPO法人きもべつWAO	継続展開中	-			
周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	エリア企業との連携による魅力づくり	39	えにわシーニックナイト	えにわシーニックプロジェクト	平成24年2月11日	約3000人+α(主催側1000人一般参加者2000人+α沿道通行者)	活動を継続してきたことで、徐々に参加企業が増加。市民、学生、PTAや企業が連携した、町ぐるみの活動に成長してきた。今後も、引き続き、参加団体も、来てくれる観光客のみならずも楽しめる活動として継続していく。		
エリアのきめ細かな情報の発信	ホームページでの情報発信	40	イベント情報等の発信	洞爺湖温泉観光協会、NPO法人そうべつ観光協会ほか	継続中	-	第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。		
	ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	41	ニセコガイドブック「3W NISEKO」発行	国際の会	継続中	-			
エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	観光コミュニティバスの実験運行	42	恵庭の秋めぐり紅葉バスツアー	えにわシーニックプロジェクト	平成23年度道路陥没により一端休止	-	エリアの周遊性を高める情報発信として、平成22年度で、エリアホームページを開鎖。今年度より、情報発信の仕組として個人が繋がり、そのネットワークを活かすFacebookの活用を開始。まずは、メンバーそれぞれがエリアの魅力発信することから始めている。また、エリアの周遊ルートとして、新たに馬で行くルートの可能性検討に挑戦。他団体と連携した、現地調査を実施し、地域の魅力発信を模索した。今後は、馬に限らず、様々な体験メニューを取り入れ、地域の魅力を体感できるモデルルートの検討などを行う予定。		
	ホームページの作成	43	FaceBookを活用した情報発信	エリア代表者会議 えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成23年度開始	主催側5名			
	エリアの周辺の検討	44	馬の道プロジェクト現地調査	ウェルカム北海道エリア代表者会議	平成23年7月1日	主催者側8名			
洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	物産展の開催	45	そうべつりんごまつり	そうべつくだもの村外	平成23年10月9日	-	第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。		
	ホームページやエリアマップなどでの情報発信	46	イベント情報等の発信	洞爺湖温泉観光協会、NPO法人そうべつ観光協会ほか	継続中	-			
	地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	47	エキノコックス公開講座	NPO法人しりべつリバーネット、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会他	平成24年2月20日	60名(主催側10名、一般参加50名)	ニセコ羊蹄エリアを中心として広域展開されてきたエキノコックス駆除活動に今年度新たに真狩村が		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清						報告年月:2012/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
観光		ふれあいのある体験ツアーの企画開催	48	ニセコ湯めぐりバス	ニセコリゾート観光協会	継続展開中	—		参画し、シーニック団体であるしりべつリゾートが事務局を務めて公開講座を開催した。	
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催	49	第2回日本ジオパーク全国大会記念「第1回洞爺湖有珠山ジオパークフォトコンテスト」	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会	平成23年7月上旬～8月15日(募集期間)	—		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。	
		エコミュージアムの情報発信	50	ホームページ等によるWeb情報媒体を活用した情報提供	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、NPO法人そうべつエコミュージアム友の会ほか	継続中	—			
		エコミュージアムツアーの企画・運営	洞爺湖有珠山ジオパーク「洞爺湖中島散策会」	51		NPO法人そうべつエコミュージアム友の会	平成23年10月22日	31名(主催側15名、一般参加16名)		
			第2回日本ジオパーク全国大会プレイベント「昭和登山学習会」	52		NPO法人そうべつエコミュージアム友の会	平成23年4月29日	50名(主催側20名、一般参加30名)		
			第2回日本ジオパーク全国大会プレイベント「ジオツアー有珠山学習会」	53		NPO法人そうべつエコミュージアム友の会	平成23年5月14日	40名(主催側20名、一般参加20名)		
		「冬のオロフレ峠」樹氷鑑賞ツアー	54		NPO法人そうべつエコミュージアム友の会	平成24年2月12日	21名(主催側10名、一般参加11名)			
	エリア連携によるふれあい観光の推進	ルートを対象としたイベント・ツアーの企画・実施(シーニックナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	えにわシーニックナイト	55		えにわシーニックプロジェクト	平成24年2月11日	約3000人+α(主催側1000人、一般参加者2000人+α沿道通行者)		エリアの魅力を発信する広域連携イベントとして、それぞれの地域で、地元と連携した冬期イベントを実施することができた。今後も引き続き、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、魅力的な冬季イベントとして、全道で連携した情報発信に力をいれるなど、北海道の冬季観光の魅力の1つとしての発展を目指す。
			支笏湖 雪あかりの散歩道	56		支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成24年2月4・5・11・12日	約900人(主催側6名、一般参加者884名)		
	イベントの企画・運営		洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	57		洞爺湖温泉観光協会	平成23年11月18日～平成24年2月19日	—		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。
			TOYAKOマンガ・アニメフェスタ2011	58		洞爺湖温泉観光協会	平成23年6月18日・19日	—		
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	おもてなしイベントの実施	59	ジオパークフェスタ「そうべつ星まつりin昭和登山」	そうべつ観光協会、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会	平成23年7月30日・31日	—		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。	
		湖畔カフェの設置	60	湖畔カフェ	洞爺湖温泉観光協会	平成23年4月29日～10月31日	—			
人材育成のための研修会などの開催		第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会開催記念ジオツアー	61		洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会	平成23年7月31日	46名(主催側6名、一般参加40名)		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。	
		第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会開催記念ジオツアー「ジオパーク勉強会」	62		洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会外	平成23年6月19日・7月30日	各45名(主催側5名、一般参加40名)			
	ルートを対象としたイベントの企画・実施(シーニックナイト2012～灯りでつなぐ雪のみち～)	63	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2012」(洞爺湖)	シーニックナイト2012実行委員会 他	平成24年2月4日～2月26日	約80名(主催側20名、一般参加60名)	S T 1			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月:2012/3/31
------------------	-----------------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		64	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2012」(ウエルカム北海道)	シーニックナイト2012実行委員会 他	平成24年2月4日～2月26日	約4000名(主催側1006名、一般参加2994名)	S W 2	各地での取り組みが多様化するなど地域の取り組みとして着実に浸透してきている。平成23年度は、全道の灯りに取り組むルートに声かけを行い、地下歩行空間等でのPRを実施した。
		65	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2012」(ニセコ羊蹄)	シーニックナイト2012実行委員会 他	平成24年2月12日～2月26日	約1500名(主催側500名、一般参加1000名)	S N 1 S N 2	
ルートを対象としたツアーの企画・実施		66	支笏洞爺ニセコ宝物プロジェクト"モニターツアー	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成24年1月28日(土)～29日(日)	25名(主催側15名、一般参加10名)	S R 1	支笏洞爺ニセコルート内で、これまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに『光』をあて、"新たな付加価値"をつける。宝ものプロジェクト。平成23年度は、これらを盛り込んだモデルツアーを試行。今回は、支笏湖のホッチャレヒメマスを牡蠣のリングの枝のチップで炙って作った燻製と道端で当たり前に自生しているスベリヒユにひと手間加え、オリジナルトッピングとし『一枚のピザ』として完成した。今後も引き続き、地域の宝を探し、磨くことをルート全体で取り組む
エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進～シーニックの森づくりの推進～		67	エキノコックス駆除活動	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会・倶知安町、京極町景観を考える会・京極町、らんごしWAO・蘭越町、NPO法人きもべつWAO・喜茂別町、ニセコ町、真狩村他	平成23年度(継続事業)	各20名程度(自治体毎に毎月1回ペイト散布)		環境に配慮した取り組みとして「エキノコックス駆除活動」がエリア全域に拡大しており、今後の広域的な展開に向けた方針や方向性の再検討が必要。今年度、新たに真狩村が参画した。

【概要】千歳ウエルカム花ロードは、「ここからはじまる北海道～みんなでつなぐ花の道～」をテーマに千歳を来訪する方々をはじめ、年間約1800万人といわれる北海道の玄関口、新千歳空港を利用する方々へ『おもてなしの心』をあらわす花植え活動である。2003年から小学校と連携し、空港から続く国道36号沿道に植栽を始め9年目。年々協力の輪が広がり、現在では、募集した一般参加者のほか、小学校2校、市民ボランティア、花植え団体、行政（千歳市、北海道、自衛隊、札幌開建）、企業から約480名が参加、新千歳空港周辺の合計3.6km、25000株の花を植えている。

【日時】平成23年5月31日（火）

【場所】千歳市（JR南千歳駅周辺、道道千歳インター線、道央道千歳IC料金所周辺）

【主催】千歳ウエルカム花ロード実行委員会

【参加人数】約480名



【概要】 シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつなぐ、“シーニックナイト2012” ウェルカム北海道エリアでは、恵庭市内16カ所、千歳市支笏湖温泉で、総距離約9キロにアイスキャンドル等を製作し点灯。地域の小中学校、企業、団体が製作・点灯に参加。雪原や雪道を明るく照らすキャンドルが北国ならではの美しい景観を作り、地域住民、観光客、ドライバーの目を楽しませた。活動参加を通じて地域連携の輪が広がり、地域への関心、人々の絆が結ばれている。

【日時】 平成24年2月11日（土）

【場所】 恵庭市（道と川の駅「花ロードえにわ」、国道36号沿道3,090m、市道4,790mなど16カ所）千歳市（支笏湖温泉氷濤まつり会場内）

【主催】 シーニックナイト2012実行委員会

【参加人数】 約3000名



【内 容】洞爺湖エリアでの開催は今年で6回目。毎回趣向を凝らした取り組みが行われており、今回は昨年に引き続き、道の駅「そうべつ情報館 i (アイ)」で「シーニックナイト2012」が行われた。

約300個の雪のランタンにキャンドルを灯し、館内では、地元サークル団体によるフラダンスや、壮瞥町天文同好会による「冬の星座」の講話を開催。その後屋外で望遠鏡による天体観測が行われた。

また、コーンスープとホットコーヒーが無料で提供された。

【日 時】平成24年2月4日（土）17：00～

【場 所】道の駅「そうべつ情報館 i (アイ)」【参加人数】約80名

【主 催】シーニックナイト2011実行委員会 洞爺湖エリア  
NPO法人そうべつ観光協会

【協 賛】NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会

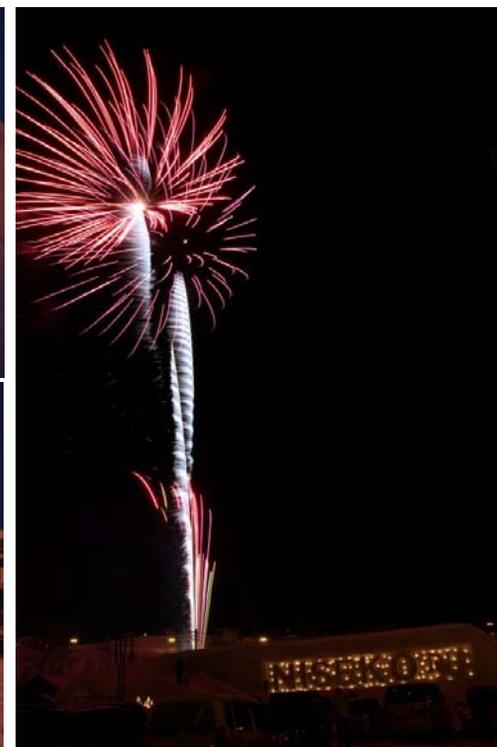
【協 力】そうべつくだもの村、壮瞥町商工会青年部、壮瞥町天文同好会、壮瞥町

【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議



## シーニックナイト2012 in ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」

- 【内 容】 駅前温泉「綺羅乃湯」をメイン会場として、駅前周辺及び沿道空間を期間中、約5,000個のキャンドルで冬の沿道に彩りを加えた。関連イベントとして「もちつき大会」、「酒・こうじ風呂」、「フリーマーケット開催」に加えて、今年から新たに冬の夜空を彩る「打ち上げ花火」が行われ、来場者や地域住民に好評だった。
- 【日 時】 平成24年2月18日（土）～2月26日（日）まで（9日間）
- 【場 所】 ニセコ駅前温泉綺羅乃湯ほか駅前周辺及び沿道空間
- 【参加人数】 約300名
- 【主 催】 ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」
- 【協 力】 (株)ニセコリゾート観光協会、ニセコ町商工会青年部、牧野工業(株)、JAようていニセコ支所、ニセコ町有志ほか



## シーニックナイト2012 in くっちゃん「雪トピアフェスティバル」

【内 容】「雪トピアフェスティバル2012」とともに開催されたシーニックナイト。小学生を対象とした「廃油を使ったキャンドルづくり」や中学生を対象とした「キャンドルオブジェ制作」のほか「シーニックナイトライブ」、東北南三陸町のキャラクター「オクトパス君」を復興ダコとして制作した「復興ダコ」、「第1回シーニックナイトコンテスト」も開催された。

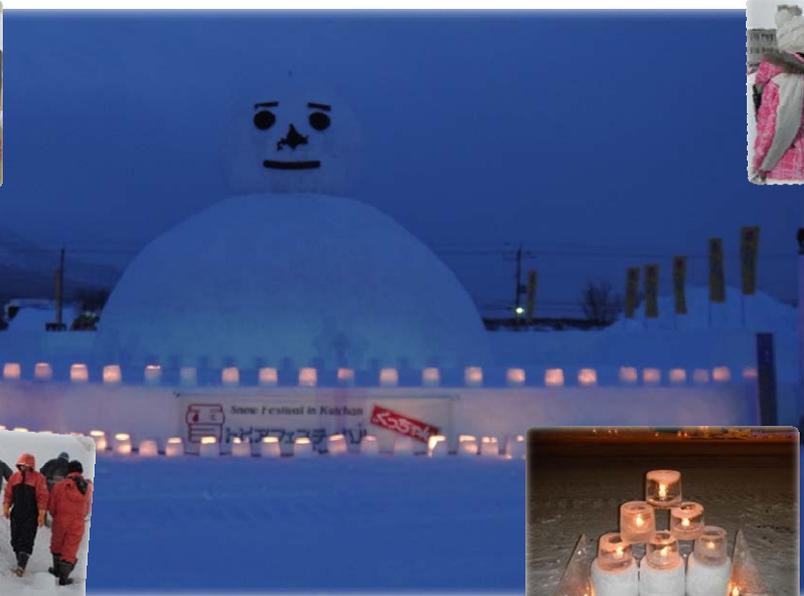
【日 時】平成24年2月18日（土）～2月19日（日）

【場 所】倶知安町中央公園

【参加人数】約500名

【主 催】NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会

【協 力】南町協和会、倶知安郵便局、まちの駅ぷらっと、菊池建設鉱業(株)、えぞふじ町内会、南陽振興会、横関建設工業(株)、商工会議所、後志振興局、五輪町内会、倶知安町公民館、ことわ町内会、倶知安町役場、ほか（敬称略）



## ヒャクノメグミプロジェクト「タカラモノ☆プロジェクトモニターツアー」

【内 容】このツアーには、単なる「体験」や「交流」にとどまらずに  
これまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに『光』をあて、  
“新たな付加価値”をつけようという思いが込められています。

【日 時】平成24年1月28日（土）～29日（日）（1泊2日）

【場 所】支笏洞爺ニセコルート内

【参加人数】25名

【企 画】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルート代表者会議／  
一般社団法人 シーニックバイウェイ支援センター

【旅行企画・実施】株式会社シービーツアーズ

【協力】湖畔の宿 洞爺かわなみ



シーニックナイト製作・点灯体験



ヒメマス燻製づくり体験



スベリヒユほか  
地元料理体験



上段：洞爺湖スノーシュー散策  
下段：蕎麦打ち体験



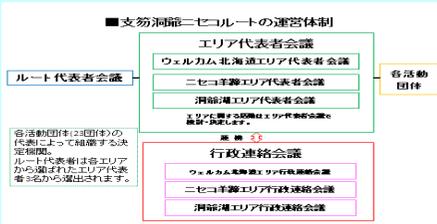
ヒメマス燻製&スベリヒユ  
ピザの試食

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

・支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 泉谷清	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	-----------------------	----------------

活動団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ</li> <li>・えにわシーニックプロジェクト</li> <li>・社団法人 千歳青年会議所</li> </ul>

<p>ルート運営体制(活動団体)</p> <p>●エリア代表者会議の運営 (構成) (代表)エリア代表 平成17年・20・23年 泉谷 清 (えにわシーニックプロジェクト) 平成18年・21年・22年 白石 一人 (NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ) 平成19年 佐藤 哲也 (社団法人 千歳青年会議所)</p>	
--	--

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	エリア運営(事務局体制)	スケジュール調整など													
	ルート運営代表者会議					● 7月4日 (第1回) 喜茂別		● 9月13日 (第2回) 支笏湖		● 11月8日 (第3回) 壮瞥					
	エリア代表者会議		● 4月20日 (第1回) 支笏湖		● 6月8日 (第2回) 支笏湖	● 7月1日 (第3回) 支笏湖	● 8月2日 (第4回) 支笏湖								
	検討会 勉強会など		★ 4月25日 (第1回花ロード 実行委員会)	5月31日 花ロード開催						★ 11月8日 審査委員視 察	★ 12月1日 (第2回花ロード 実行委員会)		★ 2月14日 (花ロード幹事 会)	★ 3月5日 (第3回花ロード 実行委員会)	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議の実施								●10/6 ※支笏洞爺恵庭 ルートと合同開催	行政連絡会議 関係機関ヒア リングの実施	・シーニックナ イトの取組に ついて情報共 有とPR連携 ・来年度業務 連携について 情報交換	・シーニックナ イトの取組に ついて情報共 有とPR協力 連携 ・来年度業務 連携について 情報交換	・花ロードほか 来年度業務に ついて打ち合 わせと情報交 換	・花ロードほか 来年度業務に ついて打ち合 わせと情報交 換	

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

・支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 泉谷清	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	-----------------------	----------------

活動団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ</li> <li>・えにわシーニックプロジェクト</li> <li>・社団法人 千歳青年会議所</li> </ul>

<p>ルート運営体制(活動団体)</p> <p>●エリア代表者会議の運営 (構成) (代表)エリア代表 平成17年・20・23年 泉谷 清 (えにわシーニックプロジェクト) 平成18年・21年・22年 白石 一人 (NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ) 平成19年 佐藤 哲也 (社団法人 千歳青年会議所)</p>	
--	--

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	エリア運営(事務局体制)	スケジュール調整など													
	ルート運営代表者会議					● 7月4日 (第1回) 喜茂別		● 9月13日 (第2回) 支笏湖		● 11月8日 (第3回) 壮瞥					
	エリア代表者会議		● 4月20日 (第1回) 支笏湖		● 6月8日 (第2回) 支笏湖	● 7月1日 (第3回) 支笏湖	● 8月2日 (第4回) 支笏湖								
	検討会 勉強会など		★ 4月25日 (第1回花ロード 実行委員会)	5月31日 花ロード開催						★ 11月8日 審査委員視 察	★ 12月1日 (第2回花ロード 実行委員会)		★ 2月14日 (花ロード幹事 会)	★ 3月5日 (第3回花ロード 実行委員会)	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議の実施								●10/6 ※支笏洞爺恵庭 ルートと合同開催	行政連絡会議 関係機関ヒア リングの実施	・シーニックナ イトの取組に ついて情報共 有とPR連携 ・来年度業務 連携について 情報交換	・シーニックナ イトの取組に ついて情報共 有とPR協力 連携 ・来年度業務 連携について 情報交換	・花ロードほか 来年度業務に ついて打ち合 わせと情報交 換	・花ロードほか 来年度業務に ついて打ち合 わせと情報交 換	

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:洞爺湖エリア代表 藤盛 元	報告年月:2012/3/31
--------------------------	-------------------	----------------

活動団体

社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、大滝レンジャーズ、特定非営利活動法人 有珠山周辺地域ジオパーク友の会(旧:NPO法人 そうべつエコミュージアム友の会) (以上8団体)

■支笏洞爺ニセコルートの運営体制

ルート代表者会議

エリア代表者会議

ウェルカム北海道エリア代表者会議

ニセコ半島エリア代表者会議

洞爺湖エリア代表者会議

各活動団体

行政連絡会議

ウェルカム北海道エリア行政連絡会議

ニセコ半島エリア行政連絡会議

洞爺湖エリア行政連絡会議

※活動団体(8団体)の代表者によって組織する決定機関。

※ルート代表者は各エリアから選ばれたエリア代表者3名から選出されます。

ルート運営体制(活動団体)

(1)洞爺湖エリア代表者会議  
シーニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。

(2)洞爺湖エリア代表者会議の運営  
【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める)  
【エリア代表者会議の位置づけ】  
・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。  
・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。  
・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。  
【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表(1年交替)を兼任します。 ●洞爺湖エリア代表:藤盛 元(そうべつくだもの村)

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート代表者会議				●7/4		●9/13		●11/8					
エリア代表者会議	情報連絡・調整など											●3/14	
シーニックナイト2012 実行委員会									●5, 6回	→			

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2012/3/31
--------------------------	-------------	----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施							●10/17					●3/2	情報共有の強化、支援体制の構築

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:ニセコ羊蹄エリア代表 熊谷 雅幸	報告年月:2012/03/31
----------------------------	----------------------	-----------------

活動団体

共和町商工会青年部、京極町景観を考える会、国際の会、NPO法人きもべつWAO、村づくり研究会、NPO法人しりべつリバーネット、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ニセコまちづくりフォーラム、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、(株)ニセコリゾート観光協会、らんこしWAO、るすつWAO (以上12団体)

■支笏洞爺ニセコルートの運営体制

ルート運営体制(活動団体)

(1)ニセコ羊蹄エリア代表者会議  
シーニックバイウェイに参加する活動団体の共通意識の醸成やお互いの活動に対する理解を図るために、「ニセコ羊蹄エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。

(2)ニセコ羊蹄エリア代表者会議の運営  
【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める)  
【エリア代表者会議の位置づけ】  
・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。  
・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。  
・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。  
【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表(1年交替)を兼任します。 ●ニセコ羊蹄エリア代表:熊谷 雅幸(らんこしWAO)

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議				● 7月4日 (第1回)		● 9月13日 (第2回)		● 11月8日 (第3回)					
	エリア代表者会議				● 7月21日 (第1回)			● 10月20日 (第2回)					● 3月16日 (第3回)	
	シーニックナイト 2011実行委員会										← 12/24~1/31 →			
	シーニックナイト 2011										← 2/2~2/26 →			

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:小樽開発建設部	報告年月:2012/03/31
------------------	-------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施				● 7/27 (倶知安町)									情報共有の強化、支援体制の構築

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者: 札幌開発建設部	報告年月: 2011/3/31
--------------------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成23年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
来訪者をもてなすウエルカムルートの創出 北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・「道道恵庭岳公園線植えるカム花ロード」 の主催及び協力	平成23年6月4日	・恵庭市	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催 ・花苗等、物資の準備、運営を行う。	・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携体制が築かれている。 ・今後も、各行政機関連携のもと、活動団体の意向に対する調整や支援メニューの提案など、密な連携が望まれる。 また、来年度は10周年となる記念の年であり、児童の思い出しに残り、かつ、千歳市民を始め全道・全国へのPRとなる情報発信に努める。	1	
			・北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所	・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして助成、4カ年限定の事業であり、22年度に最終年を迎えることから、継続に向けた検討が必要。			
	・「453・530(ヨゴサン・ゴミゼロ)キャンペーン」 のゴミ処理、清掃用具の提供等	平成23年5月30日、9月30日	・千歳市	・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加		・平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスの植栽・草刈りを実施。 ・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスの植栽・草刈りを実施。 ・本活動が民間主導の運営体制となるよう、実施方法の見直しなどを図っていく。 ・「北海道の元気」を発信するとともに、「被災地への応援メッセージ」の募集掲載を行った。	2
			・札幌開発建設部 千歳道路事務所	・ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・人的支援として、清掃活動に参加			
			・支笏湖自然保護官事務所	・人的支援として、清掃活動に参加 ・今後、環境の日や自然公園クレンジーとの清掃活動の連携も考えられる			
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・「千歳ウエルカム花ロードver9」の運営支援	平成23年5月31日	・千歳市		・平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスの植栽・草刈りを実施。	3
・札幌開発建設部 ・千歳道路事務所				・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスの植栽・草刈りを実施。 ・本活動が民間主導の運営体制となるよう、実施方法の見直しなどを図っていく。 ・「北海道の元気」を発信するとともに、「被災地への応援メッセージ」の募集掲載を行った。			
・北海道空知総合振興局札幌土木現業所				・道道千歳インター線において、植栽活動を実施。 ・植栽後の維持管理が課題(小学生や地域との連携を考えたいが、安全面の問題があり難しい。現在も、月1回実施しており、行政側の対応としては限界という状況) ・企業参加及び一般参加者を増やす取組が必要。			
エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート	平成23年度	・千歳市	・人的支援として、運営を補助	・地域活動への支援体制として、人的協力(活動参加・連携協力)や、情報発信(HP・広報紙への掲載)は、継続実施されている。また、行政連絡担当者会議の支援の一つとして、当会議において集約された助成金メニュー等を、都度、活動団体へ情報提供を行っている。 ・今年度は、新たに地下歩行空間や空港での情報発信が行われ、広くシーニックバイウェイ北海道の普及に貢献した。	4	
	地下歩行空間及び、新千歳空港におけるシーニックバイウェイ北海道PR	平成23年度	・札幌開発建設部	・札幌中心部に開通した地下歩行空間及び、新千歳空港にて、シーニックバイウェイ北海道のPRを実施。5月から10月の長期間、地域活動及び地域の魅力の情報発信を行った。			
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	馬の道プロジェクト現地調査	平成23年度	・札幌開発建設部		・地域の新たな地域資源発掘調査として、地域団体が主催する現地調査(石狩森林管理局の管理する林道)の手続き等を支援	5
			平成23年度	・石狩森林管理局		・地域の新たな地域資源発掘調査として、地域団体が主催する現地調査(石狩森林管理局の管理する林道)の手続き等を支援	
		・ホームページによる、シーニックバイウェイ北海道及び、エリア活動のPR	平成23年度	・恵庭市 ・千歳市		・恵庭市ホームページ リンク集、千歳市ホームページ リンク集ページ内「観光」カテゴリにおいて、シーニックバイウェイ北海道へのリンクを設置。	
			平成23年度	・北海道空知総合振興局札幌建設管理部		・ホームページトップページにおいて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載し、活動の周知に協力。	
平成23年度	・北海道	・道路課のトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載。					

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2011/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成23年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
ルート連携によるふれあい観光の推進		平成23年度	・札幌運輸支局	・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。	・さらに、新しく地域資源の魅力発掘として活動団体が主体となって検討を進めた馬の道プロジェクトについては、行政連絡会議の権の連携により、手続き等の支援を行ったことで、現地調査などが実現した。 ・今後も、地域の持続的な活動が出来るよう、現地を訪れての情報共有を図るなど、風通しの良い連携体制の保持に努める。	6
		平成23年度	・札幌開発建設部	・H19年度より、さっけんホームページにおいてシーニックバイウェイ制度やルートに関する情報を掲載。		
	・「シーニックナイト2012～灯りが繋ぐ雪の道」	平成23年度	・恵庭市	・ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」実施のための人的支援、メール配信。 ・市民活動支援制度えにわブークetsによる支援金の交付	・ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」の活動周知のための情報を掲載。(石狩の風景にて、実施の様子を掲載)。シーニックナイトのポスター掲示。	
		平成23年度	・千歳市	・ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」実施のためのキャンドル費用を支援		
		平成23年度	・北海道石狩総合振興局地域政策課ほか行政連絡会議関係機関	・ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」の活動周知のための情報を掲載。(石狩の風景にて、実施の様子を掲載)。シーニックナイトのポスター掲示。		
・「シーニックナイト2012～灯りが繋ぐ雪の道」への後援及び活動PR ・除雪協力	平成24年2月4日～2月28日	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部、千歳道路事務所、滝野すずらん丘陵公園事務所ほか	・ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」において、取り組みの「後援」及びポスター・チラシの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。			

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2012/3/31
--------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成23年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	洞爺湖に彩を添える	MOVE洞爺湖2011	平成23年4月29日	洞爺湖町	AIR'Gとの協力の下、洞爺湖町が洞爺湖温泉街の花壇整備・清掃活動を2001年から継続展開中。	当該地域では、清掃活動や花壇整備などの景観づくりが行われている。今後も地域住民の「想い」を各関係行政機関が「後押しする・繋げる」などの協働型マネジメントの取り組みにシフトしていく必要があると思われる。	1
		2011「サミット記念の森」植樹のつどい	平成23年5月15日	胆振総合振興局 洞爺湖町	胆振総合振興局と洞爺湖町が、環境保全への道民の関心を森づくりなどの実行に結びつけるため、「サミット記念の森」を設置、平成21年から植樹や下草刈りなどの実践活動を行う。		2
地域	エリアの資源発掘と保全活用	四十三山・金比羅山麓火口 自然観察会	平成23年10月23日	環境省洞爺湖自然保護官事務所	洞爺湖自然保護官事務所が主催した自然観察会にて火山の恵みである洞爺湖温泉の仕組みを学び、火山も含めた地域全体の自然について考える場となった。	取り組みの継続に向けた地域活動団体と連携した適切な維持管理体制の構築が必要。	3
	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推進	平成23年度	胆振総合振興局	胆振総合振興局は平成20年度より「洞爺湖有珠火山マイスター制度」を推進している。現在、21名がマイスターとして認定され活動しており、次第に活動の場が広がってきている。並行して実施している「洞爺湖有珠火山マイスター養成講座」も継続を予定している。		4
観光	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	「オールいぶり」によるデジタルジャパンキャンペーンの展開	平成23年度(継続展開)	北海道運輸局 伊達市 豊浦町 洞爺湖町 壮瞥町	運輸局と連携し、北海道登別洞爺広域観光圏が中心となって、デジタルジャパンキャンペーン(以下、VJC)を展開し、観光・集客誘致に向けた取り組みを推進している。VJCでは、海外のマスコミやエージェンツに対して、また修学旅行等をターゲットとした各種PR活動を展開している。	当該管内では、「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会」を中心に自治体間や関係行政機関の連携が積極的に図られている。行政としては行政連絡会議や各種取り組みにおいて参加協力及び人的支援等による連携が図られている。	5
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	第2回日本ジオパーク全国大会開催記念 各種ジオツアー	平成23年度	壮瞥町	ジオサイトとなっている洞爺カルデラの中にある中島を散策する「洞爺湖中島散策会」ほか、有珠山、昭和新山を登山するジオツアーを開催。参加者は、さまざまな分野を学習し、壮大な火山活動が創った有珠山、洞爺湖等、ジオ・エコツアーを楽しんだ。		6
	イベントの企画・運営	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成23年11月18日～平成24年2月19日	洞爺湖町	今冬で5回目となるイベント。洞爺湖温泉にぎわい広場に延長約70mのトンネルを設置し、LEDなど約40万個の電球で飾る。		7
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	ジオパークサインの整備検討	平成23年度	胆振総合振興局	胆振総合振興局ではジオパークを活用しての観光地づくり推進計画をたて、2012年のジオパーク再審査に向けて、サイン整備を検討している。		8
	ルートを対象としたイベントの企画・実施	シーニックナイト2012～灯りが繋ぐ雪の道～	平成24年2月4日～2月26日	胆振総合振興局 壮瞥町 洞爺湖町 室蘭開発建設部	シーニックバイウェイ北海道・支笏洞爺ニセコルートでの冬の夜を楽しむイベント、「シーニックナイト2012」。一般市民が多数参加し、キャンドルの火を灯すことにより、地域住民及び観光客に対して、広くシーニックバイウェイの取組をPRすることができた。各行政機関も協賛や後援などの形で支援を行っている。		9

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)		報告者:小樽開発建設部		報告年月:2012/03/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討	平成23年度	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会(会長:蘭越町長、副会長:倶知安町長)後志支庁	4つの部会(羊蹄の日の制定及び活動検討部会、景観法検討部会、案内標識検討部会、水辺景観づくり部会)に分かれて地域住民と協働で具体的な検討を進めている。	7か町村の連携による「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討を中心に各種情報共有・情報交換が継続的に行われており、地域にも浸透してきている。	1
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	町民ボランティアの集い「まちをきれいにしよう」	平成23年5月	京極町	ゴミや空き缶を拾い集め、きれいなまちづくりを行うことを目的として、毎年5月に市街地の清掃活動を実施。		2
		「フラワーロード事業」の実施	平成23年5月31日	真狩村	継続の重要性を感じており、次年度以降も継続展開を予定している。しかし、球根の輸送代(オランダより輸入)や管理費や肥料代等が高いことが課題である。		3
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	「尻別川クリーン作戦」の実施	平成23年6月18日	蘭越町 小樽開発建設部 後志支庁	シーニック活動団体である、しりべつリバーネットが主催となり、清流日本一の尻別川の清らかな流れを守ることが流域全体の自然を大切にすることを目標として、カヌー等を使って清掃。作業終了後は地域との交流を図る交流会を実施。		4
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	雷トピアフェスティバル2012(実行委員会構成メンバーとして参加)	平成24年2月18日～19日	倶知安町	町と町民有志による協賛で開催し、自衛隊も全面的に協力している。運営は雷トピアフェスティバル実行委員会、事務局は倶知安町役場商工観光課。今年もシーニックナイトとも連携したイベントとしてキャンドルを介した交流を行った。	広域連携の取り組みである「シーニックナイト」や環境に配慮した取り組みとして「エキノコクス駆除活動」が各自体にも定着してきている。	5
	地域コミュニティを大切に地域づくりの推進	「シーニックナイト2012」への協力・参加	平成24年2月12日～平成24年2月26日	ニセコ羊蹄7か町村 小樽開発建設部、 小樽開発建設部倶知安道路事務所	ニセコ羊蹄エリアにおいて活動団体が存在する自治体では、地域活動団体が主体となって企画運営を行い、行政は人的支援や広報支援によるサポートを行っている。		6
	地域の人材の育成と活用	道の駅「望羊中山」における観光業務委託(シーニックバイウェイプラザin中山峠の管理運営、各種情報発信など)	平成23年度	喜茂別町	商工会からNPO法人きもべつWAOに対して観光業務委託をしている。主な内容としては、観光全般の支援、中山峠のトイレ清掃、iセンターでの情報発信等。今年度は、中山峠観光トイレ待合スペースにてシーニックパネル展を開催した。		7
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	アンテナショップ「くっちゃんマルシェユキだるま」の開催	(通年営業)	[主催]くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会	平成21年4月、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会を中心として、倶知安町青年団体協議会、ようてい農協倶知安支所、倶知安商店連合会、倶知安観光協会、倶知安商工会議所のメンバーにより「くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会」を設立した。コンセプトは、地元の新鮮な農産物や特産品の紹介や販売による生産者同士あるいは生産者と消費者の交流の場をメインに、観光案内などの情報発信機能、憩いの場としての機能としても活用できる、地域に根ざした多目的空間の創出である。	ほとんどの自治体において地域活動団体への金銭的な支援は直接できないが、自主財源を確保するための情報提供等は適宜行われている。	8
	エリアのきめ細かな情報の発信	しりべしシステム事業との連携(HP等の媒体活用による情報発信)	平成23年度	後志支庁、 小樽開発建設部	「しりべしシステム」では、地域だよりとして各自治体からのイベント情報等を随時提供している。また、ニセコ羊蹄エリアのサイトリニューアルについても、お薦め景観ポイントやシーニックイベント情報等の提供を検討中。		9
	地域のとのふれあいを大切に観光の推進	ニセコフェスティバル2010の開催	平成23年9月10日～10月15日	ニセコフェスティバル実行委員会(後志支庁、ニセコ町、倶知安町、蘭越町他)	ニセコ本来の魅力をお知らせし『ニセコファン』を確保し、倶知安・ニセコ・蘭越の農・商・観光事業者が協力し、各施設からさまざまなプログラムをご提供し、総合的な連携を強め『ニセコエリア』としてお客様をお迎えした。 ○主催:ニセコフェスティバル実行委員会 ●後援(順不同):後志支庁・ニセコ町・倶知安町・蘭越町・ニセコ町商工会・ニセコリゾート観光協会・倶知安観光協会・蘭越町観光協会・ニセコプロモーションボード・後志観光連盟		10

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)		報告者:小樽開発建設部		報告年月:2012/03/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
その他	★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除に向けた調査等	平成23年度	倶知安町、蘭越町、京極町、ニセコ町、喜茂別町、真狩村	ニセコ羊蹄地域が国際的な観光地へ発展するための環境整備のひとつとして、人間と野生動物が安全に共存できる状況をつくるための生態系修復の試み。喜茂別町及びニセコ町へエリアを拡大展開し、寄生されたキツネのフンに含まれるエキノコックスの抗原(排泄物)の有無に基づいて寄生率を求めた。エリア代表者会議、及び行政連絡会議においても周知・協力体制の構築を図っており、エリア全体の取り組みとしての展開につながることを期待する。	エキノコックス駆除活動については、羊蹄山麓エリアの5自治体(蘭越、ニセコ、喜茂別、京極、倶知安)にて予算付けがされるなど、地域全体の取り組みとして認知されてきた。	11
	★シーニックバイウェイの地域内外への浸透に向けた取り組みの推進	地域住民等との協働による景観配慮型道路付属施設への改善等の試行実施	平成23年度 (継続実施中)	小樽開発建設部	ニセコ羊蹄エリアを訪れる旅行者および地域住民における同エリアがシーニックバイウェイのルートであることの認識度向上のため、地域活動団体や地域住民等と協働し、景観配慮型の道路付属施設のあり方等について検討を行い、改善を試行的に実施した。平成23年度は、京極町更進地区のビューポイントパーキング周辺草刈りを地域と道路管理者が合同で実施した。またこれまでの道路付属施設改善箇所を地域住民や関係行政機関等と一緒に現地で確認した。	シーニックバイウェイ北海道の浸透については、地域活動団体が存在する自治体及び活動が活発な地域については浸透しているが、地域住民に対する周知が次のステップへの課題である。	12

5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2012/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
<p>・シーニックバイウェイ北海道の持続的推進やブランドの形成・活用に向け、引き続き、ルート活動の地域への浸透、改善の仕組みの強化、人材育成の充実をめるとともに、あわせて、ルート活動の基盤や支援体制を強化することに取り組まされたい。</p>	<p>シーニックバイウェイ北海道の最大のメリットである広域連携という利点を生かしたなかで、各地域活動団体及び各自治体が連携した取り組みが多様化している。</p> <p>一方で課題としては、各種会議の形骸化とともに昨年度に引き続き後継者及び活動を支える人材の不足、地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ルート活動の地域への浸透・改善の仕組み強化</li> <li>・支笏洞爺ニセコルートを訪れる来訪者や地域住民に対して、シーニックバイウェイ北海道の指定ルートであることを認識してもらい、長期間人々の記憶に残り愛されるようなルートのロゴマーク案の作成を目的とし、昨年度から継続検討中。来訪者・地域双方の視点で、望ましいロゴマークのあり方について時間をかけて検討が進められている。</li> <li>●ルート活動の基盤・支援体制強化</li> <li>・昨年度設置されたルートのメーリングリストが意見交換の場として活用され、ルート内の意見調整や情報共有が円滑に図られつつある。また、行政機関との連携も定着されつつある。</li> <li>●ブランドの形成・活用</li> <li>・ルート連携活動の一つとして地域資源の発掘調査(ヒヤクノメグミプロジェクト)を取組中。またモデルコースの設定やエージェントへのPRを視野に、専門部会設立の準備中。</li> <li>●人材育成の取組</li> <li>・2009年度はルート連携活動のシーニックナイトにて、地域住民や教育機関等との連携を図った。また個別活動においても同様に地域住民の参画をきっかけに、交流・連携の拡大を目指す試みを継続中。</li> </ul>	

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	報告年月: 2012/3/31
-------------------	------------------------------	-----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まされたい。</p> <p>特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。</p>	<p>【ウェルカム北海道】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーニックバイウェイ北海道の認知度を向上するため、行政連絡会議事務局が主体となり、新千歳空港や地下歩行空間でのロングランPRを実施した。実施したアンケート調査では、地下歩行空間でのPRによりシーニックバイウェイの取り組みを知ったとの回答もみられ、一定の効果があつたことが推測される。</li> <li>・過年度に引き続き、行政連携による情報発信・人的支援の定着化が見られた。</li> <li>・また、今年度は新たに関係機関が連携することにより、実現した地域活動も見られ、今後も多様な組織が参加しているメリットを活かした地域活動の支援をめざす。</li> <li>・ルート活動の基盤・支援体制の強化に向けて、持続的な活動持続のために有益となる情報(助成金等)の提供・共有を着実に図っていくことが必要。</li> </ul>	